

1 京都市子ども保健医療相談・事故防止センター 「京(みやこ)あんしんこども館」を知っていますか？



- ◆京都市が8年前に梅屋小学校跡地に子どもの安心・安全を守るために作った施設です。
- ◆子どもの病気や育児の不安の相談にベテラン小児科医・保健師・看護師が対応します。
- ◆子ども達に発生しやすい事故の調査と事故を減らすために予防対策を考えています。
- ◆8年間の来館者：21,297名（個人12,038名・団体9,259名）
- ◆8年間の保健医療相談：8,806件（電話相談7,571件）



◆◆◆◆◆事故のアンケート調査にご協力いただきありがとうございました◆◆◆◆◆

平成16～20年(5年間)の 保健医療相談件数

| 項目 | 数 | % |
|----------------------|-------|-------|
| 病気のこと | 1,477 | 31.5% |
| 心身の発達 | 729 | 15.5% |
| 事故 (転落・誤飲など) | 680 | 14.5% |
| 一般生理 (排尿・排便など) | 607 | 12.9% |
| 栄養 (授乳～食育) | 418 | 8.9% |
| その他 (予防接種・生活習慣など) | 781 | 16.6% |
| 合計 | 4,692 | 100% |

どんな相談：

第1位は、表の5年間4,692件の相談では1,477件が「病気のこと」(31.5%)。2位は「発達について」、3位は「不慮の事故」。

そのほか、いろいろな相談がありました。ほとんどの相談は1歳前後の30歳代のお母さん、まれにお父さん、おばあちゃんでした。

1位の病気についての相談：

「突然の発熱や発疹」、「おう吐や下痢」、「アトピーや湿疹」、「鼻出血」、「せき」その他けいれん・眼・ヘルニア等で75%でした。

ほとんどの相談は対応と今後の方針で安心されます。なぜ、こんなことが起こるのが理解できれば安心ですが、長く続くと心配です。相談できる、かかりつけ医を持ちましょう。

不安なときは電話で相談してください。

今回の情報 病気の相談は…

- 1位 突然の熱
- 2位 嘔吐や下痢
- 3位 発疹
- 4位 鼻出血・耳痛
- 5位 せき



ワンポイント

- ①熱がでるのはバイ菌が体に入ったら、起こる正常な反応です。バイ菌を退治するために血液中の正常な細胞が熱を出させる物質を放出しているのです。バイ菌の入った場所の違いでおう吐、せきなど異なった症状が出るのです。
- ②かかりつけ医を持ちましょう。
- ③相談できる友達やおばあちゃんがいると楽ですよ。

何をしているの？

- *来館者にはセーフティハウスの見学と家庭内事故防止について説明。
- *団体来館者には見学と小児科医による「子育て不安」、「児童虐待」「家庭内事故」等の話。
- *講習会ではお子さんの「心肺蘇生法講習会」、「チャイルドシート装着、幼児2人同乗用自転車の講習会」もしています。
- *子どもの事故防止実践・応急手当マニュアルを進呈します(無料)。

場所は？

中京区釜座通丸太町上る梅屋町
(第二赤十字病院南隣)
TEL 代表 075-231-8002
相談 075-231-8005
FAX 075-231-8003
<http://www.anshinkodomokan.jp>